

平成 30 年 3 月  
鳥栖市教育委員会  
定例会議事録

鳥栖市教育委員会

## 鳥栖市教育委員会 議事要旨

### 1 会 議 名

教育委員会 3 月定例会

### 2 開 催 日 時

平成 30 年 3 月 14 日（水） 8 時 30 分開会 9 時 13 分閉会

### 3 開 催 場 所

鳥栖市役所 南別館 2 階会議室

### 4 会 議 の 公 開

公開

### 5 出 席 委 員

天野教育長、古澤委員、吉原委員、戸田委員、副田委員

### 6 出席事務局職員

白水教育次長、江寄教育総務課長、平川学校教育課長、佐藤生涯学習課長兼図書館長、木村学校教育課参事兼課長補佐、中島学校教育課参事兼教育相談係長、山津生涯学習課参事、豊増学校教育課長補佐兼学校給食センター所長兼学校給食センター係長、八尋生涯学習課長補佐兼生涯学習推進係長、原教育総務課総務係長、有馬学校教育課学校教育係長、久山生涯学習課文化財係長、栗山生涯学習課図書係長

### 7 傍 聴

1 名

### 8 経 過 報 告

2 月定例会以降の経過報告

### 9 議 事 録 承 認

2 月定例会の議事録承認

【承認】

3 月臨時会の議事録承認

【承認】

### 10 議事及び審議結果

議案第 6 号 鳥栖市教育プランの改正について

【承認】

### 11 今後の予定等

教育委員会関連の主な行事について報告

### 12 次回会議予定

教育委員会 4 月定例会 平成 30 年 4 月 11 日（水） 13 時 10 分から

## 鳥栖市教育委員会 3 月定例会議事録

### ●天野教育長

皆さん、おはようございます。日増しに暖かくなりまして、今日は4月中旬くらいの陽気になると聞いております。本日は3月議会の関係で早朝よりお集まりいただきまして、ありがとうございます。相変わらず沢山の一般質問が出ておりましたが、昨日、一般質問が終わりまして、ほっとしているところです。今日からはいよいよ総務文教常任委員会が始まりますので、頑張っていきたいと思っております。

中学校卒業証書授与式で祝辞を読んでもらいました委員の皆さま方、ありがとうございます。私は鳥栖西中学校の卒業証書授与式に出席したのですが、引き締まった素晴らしい卒業証書授与式だったと思っております。4中学校とも、素晴らしい内容だったと聞きまして、良かったなと思っております。

それから昨日は県立高校入試の合格発表がございまして、きっと15の春に大きな花が咲いたのではないかという気持ちをもっております。金曜日は、小学校の卒業証書授与式となっておりますので、委員の皆さま方、よろしく願い申しあげます。

それでは只今より教育委員会の3月定例会を始めます。最初に経過報告をお願いします。江寄課長。

### ●江寄教育総務課長

(資料に基づき説明)

### ●天野教育長

ありがとうございます。経過報告、寄附、行事等について、何かご質問等ありましたらお願いします。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

ありがとうございます。それでは議事録承認に入ります。今回は、2月21日開催の2月定例会と3月2日開催の3月臨時会について、事務局より議事録をまとめていただいております。ページは、2ページから11ページまでとなっております、何かありましたら事務局へお願いします。

今回、古澤委員より2月21日開催の2月定例会における発言に対しまして、お手元に配布のとおり、発言取消の申し出がっております。委員の皆さまにお諮りをいたします。古澤委員の申し出にご異議はありますか。異議の無い方は挙手をお願いいたします。

(各委員より挙手あり)

ありがとうございます。ご異議なしと認めます。古澤委員からの発言取消の申し出を許可することにいたします。

次に議事に入ります。議案第6号、鳥栖市教育プランの改正について、事務局より説明をお願いします。江寄課長。

### ●江寄教育総務課長

(資料に基づき説明)

### ●天野教育長

ありがとうございます。今、江寄課長から説明がありましたように、14ページに主な改正点の新旧対照表が載っております、このようにまとめていただいております。委員の皆さま方からご質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。今日は、これがメインですので、じっくり見ていただけたらと思います。吉原委員。

### ●吉原委員

5ページの具体的な取組の中の「学力の向上」と「豊かな心」の中の教科「日本

語」が、これまでの「実践」から「充実」へととなっております。こういった「充実」の中身を想定されてあるのかを教えてくださいたいと思います。

●天野教育長

平川課長。

●平川学校教育課長

ご指摘、ありがとうございます。この教科「日本語」の取組みも、来年度、4年目を迎えます。教科書の改訂も平成28年度に行いました。そして、これまでの3年間の取組みについて、いろいろな授業実践、それから、授業へ協力いただく専門家の方々、例えば、茶道であったり、着物の着付けであったり、礼儀作法であったり、そういう人材も沢山、確保してきました。そういうものを3年間のまとめということで、実践事例集というものを、今年度、各学校の教科「日本語」のコーディネーターの先生方に時間を割いて作っていただいております。それを来年度早々には、先生方、一人ひとりに、また、4月に転入して、新しく鳥栖市に入ってこられる先生方にもお配りをして、そして、教科「日本語」の授業実践というものについて、早く揃っていただけるように、そういうものを作成してお配りするようしております。そういったものを活用していただいて、他の学校とか、他の先生の努力されたものを見ていただいて、自分の授業実践に更に活かして、教科「日本語」を充実したものにしていきたいと思っていますところでございます。以上でございます。

●天野教育長

そういった形で、実践事例集というものが出来つつありますので、そういったものを活用するということですが、他に木村参事から何かありますか。

●木村学校教育課参事兼課長補佐

おはようございます。失礼します。今度、新学習指導要領がでますので、それを踏まえながら、今回、資質・能力というところが問われております。それに向けて、教科「日本語」にも大事なところがあるかと思っております。資質・能力の視点を活かしての取り組みを今後、学校の授業に取り入れていきたいと考えているところです。

●天野教育長

ありがとうございます。ということでもいいですかね。

●吉原委員

はい。

●天野教育長

他にありませんか。戸田委員。

●戸田委員

8ページ、学校教育の2つ目、教職員の多忙化の中ですけれども、活動指標として「パソコンによる勤務時間の客観的な把握」というものをあげておられますけれども、その中身、現状からどういうことをされて、どういうことが変わることを期待されているのかを少し説明していただけないかと思っております。

●天野教育長

平川課長。

●平川学校教育課長

これまでは、教職員の勤務時間の管理と言いますか、把握につきましては、自己申告でございました。一人ひとりが、出勤した時刻、退勤した時刻を自分で記入をして、それによって、1日何時間勤務をした、時間外勤務が何時間だというような把握の仕方をしておりました。正直、毎日つけていくというのがなかなか難しいところもありまして、思い出し、思い出しというところもございました。今回はパソコ

ンのソフトと言いますか、プログラムを使いまして、朝、出勤した際、出勤簿を押した時にパソコンで自分の名前をクリックし、退勤する際は自分の名前をクリックして退勤することで、出勤と退勤時刻が自動的に記録をされていき、月末には1か月の勤務の状況の個人個人の表と職員の一覧が出てくるものを見つけましたので、それを活用しまして、小学校1校、中学校1校で3学期に試行しているところです。小学校ではうまくいっておりますが、大規模校や中学校については土日の部活動がございますので、そういったところを改善して、4月からの導入についてはなかなか難しいと思うのですが、できるだけ早く各学校で、このシステムを導入して、把握をします。この把握をすることで、まず、先生方の勤務実態を正確に把握することです。そこから見えてくる課題について、また、対策を考えていきたいと思っております。以上でございます。

#### ●天野教育長

客観的な把握をすることが1番ということです。自主的に自分たちでやる超過勤務的な面もあるものだから把握するのが難しく、パソコンソフトを見つけてきて、実験的にやっていますけれども、あとは、どのように広げていくのかということですね。1番はデータを知ること。職員一人ひとりが自分の仕事の内容を振り返るということをしっかりやらせよう、意識して働いてもらおうということが大事だろうということですね。ということも含めて取り組みたいと思っております。他にありませんか。古澤委員。

#### ●古澤委員

11ページのなかよし会の件ですけれども、「市の直営化に向けた」と踏み込んだ記載がされていますけれども、そのことについて、お話いただいている範囲で結構です。何年を目途にされているのか。それと、今、働いておられる方、スタッフの方々の身分はどういうことを想定されているのかを言える範囲で教えてください。

#### ●天野教育長

佐藤課長。

#### ●佐藤生涯学習課長兼図書館長

市直営化に向けたスケジュールですけれども、まず、直営化にという庁内での合意があった。その時の目標としては、平成31年度を目標にということで進めてはおります。ですので、その目標に向かって、あと1年となっております。ただ、市直営化に向けては、いろいろ整理が必要な部分がありまして、その中の1つが、先程言われた、運営協議会で雇用しております職員の問題がございます。なかよし会で働いていただいている指導員、それから事務局で事務をしていただいている事務局職員は、全てなかよし会の運営協議会で雇用しておりますので、それを市の直営化とした場合、その人たちは、基本的には市の雇用となりますが、形としては臨時職員、嘱託職員ということで整理をする必要があるかと考えております。事務局の職員としては、通常、市役所の事務をしております嘱託職員と同じ時間帯での勤務でございますけれども、現場で働いています指導員については、勤務時間が短い方もございますので、そのあたりの整理が大きな課題と思っております。以上です。

#### ●天野教育長

ということでございます。いいでしょうか。

#### ●古澤委員

はい。

#### ●天野教育長

副田委員。

●副田委員

2点、確認させていただきます。まず、5ページですが、「教科「日本語」に取り組み、授業の中では地域ボランティアの積極的な活用を目指します。」と書いてありますが、この地域ボランティアの方というのは、これまでも発掘はされていると思うのですが、今後の展開として、更に地域ボランティアの方たちをどのような形で発掘して活用なさるご計画がおありなのでしょうか。

●天野教育長

平川課長。

●平川学校教育課長

先程、申しましたように、これまでも沢山の方に授業には参加していただいております。今度、基里小学校、中学校で、コミュニティ・スクールの導入を決めております。そういった中で、地域の中で子どもたちを育てるところから地域の方々に参加をしていただくところが推進をされるのではないかと考えております。そういうところで、基里小中学校で進めていただいて、その辺のノウハウとか、良かったところとか、成果のあがったことなどを他の学校にも広めていくことは出来るのではないかと考えております。特別、こういう方法で発掘を目指すということは特段、決めてはおりませんが、これからも地域の中の学校、地域で子どもたちを育てるという方向に間違いはございませんので、その中で、今、学校のいろいろな活動、教育、見守りなどに関わっている方々をネットワークして、積極的に広げていきたいと考えているところでございます。以上でございます。

●副田委員

承知いたしました。

●天野教育長

それでは、もう1点、どうぞ。

●副田委員

もう1点が8ページです。8ページの真ん中あたりですが、「心身ともに急速に成長する中学生にとって今後の中学校給食はどうあるべきかを協議し、中長期的な計画を作成します。」というところで、中学校に限らず、勿論、小学校にも関わってくると思うのですが、大体、成人男性の1日の摂取カロリーがおおよそ2,600カロリー前後だと、そして、成人女性の摂取カロリーがおおよそ2,000カロリー前後だということなのですが、多分、給食というのは1日の3分の1のカロリーを補うようなカロリー計算になっているかと思うのです。そのような中で、給食に関する事なのではあるのですが、多分、朝食で、3分の1のカロリーを取れていない子が沢山いるのではないかと考えています。中学校給食のここには関係ないかもしれませんが、心身ともに急速に成長する中学生にとっての栄養という、そのようなことから考えますと、朝食に関しての何か指導であるとか、良いご提案などがあれば、ご回答をと言うよりも、そのようなことに関しての何かお考えなどございましたら、お聞かせいただければと思います。

●天野教育長

平川課長。

●平川学校教育課長

確かに給食だけではなくて、3食で子どもたちに必要なカロリーや栄養を取っていくことが、子どもたちの心身の健全な成長には必要だということは考えております。なかなか、子どもたちの朝食の状況を把握することは難しいところではございます。小学校におきましては、朝食でどんなものを食べてきたかという、1週間位

ですね、栄養士の先生が記録を取って分析をするということをされることもございます。ただ、これも保護者にとっては、非常にプレッシャーであったり、して欲しくないというご意見をいただいたりも過去にはございました。そういうところで、朝食や夕食については、プライベートなところもございまして、なかなか正確に把握することはできませんが、中学校におきましては、保健体育の健康の授業、或いは家庭科の授業の中で、食の大切さ、それから心身が成長する中学生にとって、食のどのようなことに気を付ければいいのかということ。小学校におきましても、赤、黄色、緑ですかね、栄養学の勉強をしたりして、食べ物が自分の成長に必要なことがどういうことなのかということ学習はしているところでございます。以上、お答えになっているかどうか良く分かりませんが、以上でございます。

●副田委員

ありがとうございます。もう1つだけ、よろしいでしょうか。

●天野教育長

どうぞ。

●副田委員

今、花粉症でとても苦しんでいらっしゃる方、大人も子どももそうだと思うのですが、花粉症で本当に授業に集中できないとか、年々酷くなっているような子も沢山いると思うのですね。因みに有田の学校でヨーグルトを1か月か、3か月か、ちょっとその期間は忘れてしまったのですが、ヨーグルトをずっと食べさせたら、注意力が上がって、インフルエンザ、そして、いろいろな良い効果が出たという、全国ニュースになったと思うのです。

●天野教育長

ありました。

●副田委員

ありましたよね。それから、そのヨーグルトが結構、売り出されたということがあったのですけれども。そういうふうな、勿論、全体の摂取カロリーとか栄養価とかいうこともそうなのですけれども、そのような、同じ佐賀県で有田が実践したということもございますので、「さあ、そろそろ花粉症が来るな」とか「インフルエンザが来るな」という時に、ちょっと前から、1か月か3か月か効果があるのが分かりませんが、それを実践してみるとか、そのような計画はあるのでしょうか。

●天野教育長

平川課長。

●平川学校教育課長

はい。そういう情報も入れまして、栄養士も小学校の給食、中学校にも栄養士がおりますので、そういう情報は伝えて、研究をさせたいと思います。実施可能かどうかについては検討しなければ分かりませんが、伝えて、研究をさせたいと思います。

●副田委員

ありがとうございます。以上です。

●天野教育長

中3の朝食の摂取率は学力調査全国学力・学習状況調査の時に出了とは思いますが、どうですか。木村参事。

●木村学校教育課参事兼課長補佐

全国学力・学習状況調査があつておりますけれども、その時に朝食の摂取率という質問が出ています。鳥栖市の子どもたちは「9割以上、食べている」というアン

ケート結果が出ています。課題から見えることとしましては、朝食を食べている子どもたちの方の学力が高いという結果です。

### ●天野教育長

ありがとうございます。他に。古澤委員。

### ●古澤委員

副田委員の質問に関連しますけれども、8ページの学校給食の関係です。それこそ、朝食をとりたくても、朝食が準備されていなくて、朝食をとれていない状況にある子どもさん方は、鳥栖市だけの問題ではなくて、全国的な課題なのかなと思っています。中学生でもそうですし、小学生となると、火をつけて、どうのこうのとなると、なかなかより難しいと思っています。保護者の方の考えとかいろいろあるでしょうから、調査をどうのこうのというのは、なかなか難しい面があるでしょう。ただ、そういったことの大事さ、大切さだけを絞って、極力作って、親の愛情が感じられるような家庭生活を送れるように、やんわりとピーアールでもしていただけたらどうかと思うのが1点です。

朝食をとれていないというのも問題ですけれども、それともう1点が、市長との総合教育会議でも私、お話しましたけれども、孤食の問題です。1人で食べざるを得ない状況。最近は共働きのご家庭が多くなっていて、お父さんも、お母さんも仕事で帰っていないくて、仕方なく1人で食べる。朝から1人というよりも、恐らく夕食を1人で寂しく食べているのではないかと思いますので、そのこともあわせて、何かの機会で言うことがあった時には、本当言うと、行政の側から、学校側から呼びかけるといよりも、意識の高い保護者がおられる筈です。学校に関わってある地域の方々にもそういう懸念を持ってある方がいらっしゃる筈ですので、そこから発言が出てくるのもいいかもしれないと思いますけれども、何かの折には、そういったことも、これもあまり露骨に言うのは言いにくいでしょうから、これまたやんわりと発言する機会があるとか、何かでお知らせすることができたら、念頭においていただけたらと思います。これはお願いです。回答は要りません。

### ●天野教育長

ありがとうございました。鳥栖スタイルは「挨拶」「掃除」「食生活」ですので、うちは、3つのキャッチフレーズでしっかりやろうということで。それは職員も一緒ですけれども。そういうことで、食生活については、来年度に向けても、色々な面でも取り組んでいきたいと思っております。他にいいでしょうか。吉原委員

### ●吉原委員

13ページの歴史・文化財の中で、明治維新150年記念事業ということで、県をあげてしてあると思います。ここに書いてあるように通常の資料公開とか見学会は、当然、されてあると思うのですけれども、今回、積極的にこの事業を通じてされるという何か計画があれば教えていただきたい。

### ●天野教育長

佐藤課長。

### ●佐藤生涯学習課長兼図書館長

今回、明治維新150年記念事業というのが佐賀県全県下で取組む事業です。佐賀県が大きな力を入れている事業です。その佐賀県の補助事業を活用しまして、鳥栖市でも明治維新150年を記念した事業を今、企画をしているところです。その中の1つとして、鳥栖市には県のサテライト館が、くすり博物館に、間もなく、今週末の土曜日にオープンをいたします。そこで、鳥栖市の様々なこれまでの偉人、偉業を検証するような内容の展示を行うことにしております、そちらのテーマを中心

とした、書物と言うか冊子を作りたいと考えております。その冊子については、是非、子どもたちに鳥栖市をもっと知って欲しいと考えており、鳥栖市のこれまでの歴史、それから今後の自分の生き方にも、もしかしたら影響を与えるような、そういう内容のものを作っていただけると考えております。

#### ●吉原委員

ありがとうございます。

#### ●天野教育長

副読本のことを少し、久山係長いいですか。

#### ●久山生涯学習課文化財係長

副読本は、学校で使うと限定したものではありませんで、読本という形で広く使えたら、子どもたちにまず理解しやすいということです。ですから、課長が申し上げたとおり、サテライト館で鳥栖の発展に尽くしていただいた方を継承する展示を今月の17日から来年の1月14日まで行うのですけれども、それを一過性で終わらせるのではなくて、こういったものを残すという取り組みを考えています。それと、小さいことですが、他にシンポジウム等のイベントや記念的なモニュメントのようなものも考えております。事業は、生涯学習課と商工振興課とで共同で行うこととなります。

#### ●天野教育長

ということで、薬と櫛と鉄道の3本柱でやるということ。知事の肝いりで、4年生以上の子どもたちには、旅費がついて、全員バスで見学するというです。学校も大変ですけどもね。佐賀市とサテライト館を見学する計画をしているところ。こういう形で積極的に対応しております。

他にありませんか。私の方から、今度の一般質問でもコミュニティ・スクールは新しい施策ということで、随分、質問が出ておまして、現在の進捗状況についてお願いします。平川課長。

#### ●平川学校教育課長

先ほども、少し触れましたが、平成30年度から基里小学校及び基里中学校に学校運営協議会を設置して、コミュニティ・スクールを導入することとしております。それに向けまして、3学期、基里小中学校の校長、教頭と協議を重ねているところでございます。今後、運営協議会委員を選定いたしまして、早速、学校の運営基本方針等について、熟慮して、実際の活動に入れるところから入っていきたいと考えております。詳しいことについては、木村参事より補足をいたします。

#### ●天野教育長

木村参事。

#### ●木村学校教育課参事兼課長補佐

今回、久保山博幸議員と成富牧男議員から質問を受けました。成富議員はコミュニティ・スクールを応援したいという立場でのご質問だったかと思えます。コミュニティ・スクールの導入目的、概要、今後のスケジュールについて、先程、教育長が述べられたように質問がありましたし、予算関係のこともありましたし、制度導入についてどのようなことが期待できるかということについて質問を受けましたので、今後、期待される成果について説明し、広報と言うのも大事ですし、ホームページ、学校だより等を使いながら積極的に発信していくことが大事だということ。それと教職員の多忙化関係もありますけれども、負担軽減のため、働き方改革に繋げることを意識しながらコミュニティ・スクール、学校運営協議会を中心に進めていきたいと考えているところでございます。

現在のところ、基里小学校、基里中学校、各運営協議会の委員を選んでいるところで、大体、確定しつつあるところです。学校経営計画等については出来あがっていると聞いております。以上です。

●**天野教育長**

ありがとうございました。学校教育課においては、コミュニティ・スクールを如何にやるかというのが大きなところだと思っております。吉原委員さん、いいでしょうか。

●**吉原委員**

はい。

●**天野教育長**

もう1つだけ、来年度の施策で期待しているのが、子どもの読書活動推進です。今まで、子どもの読書活動推進計画を策定していただいて、今度は推進していく立場から、10ページに移動図書館サービスの充実とか、その辺を含めて環境整備に取り組むということを書いてありますので、その辺のところ、分かるところの範囲で来年度の方向性について少しお話をさせていただけたらと思います。佐藤課長。

●**佐藤生涯学習課長兼図書館長**

今回、子どもの読書活動推進計画策定の最終手続きをとっているところでございます。計画を策定するだけでなく、今後、どのように展開していくかというところでございますが、具体的にこれというものはございません。ただ、この策定に向けて、いろいろな方のご意見を聞いたり、いろいろなところで話をさせていただいたりして、皆さん、とても大切なことだし、取り組む必要があるという共通認識を持つことが出来ました。それぞれのところで、それぞれが取り組むこと、それから協力して一緒にやっていくこと、図書館が支援していくこと、それぞれの役割をもう一度考えて、どういった形でやっていくのかというのは、これから具体的な研究をしていくこととなりますが、その中心的なものとして移動図書館での取組みも大きいのかなと考えております。それによって、例えばですけれども、学校の図書館の補完的な役割を果たしていくであるとか、子どもたちがいる施設に本を届けるとか、或いは、まちづくり推進センターで本を借りていただくために、お越しになった方たちにアウトリーチ、ここでソフト事業を展開するというようなことも、これから積極的に取り組んでいくことで、子どもの読書活動の推進に繋がっていただければいいなと思っております。もし、効果的な、例えば、こういうことをしたらどうかと言うご意見がありましたら、お寄せいただければ有り難いです。

●**天野教育長**

副田委員が専門ですから、どしどしとご意見を言っていたら有り難いと思います。よろしくお願いします。それでは、鳥栖市教育プランの改正については、ご了承いただけるということでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

どうも有難うございます。それでは、来年度の鳥栖市教育プランについては、ご了承いただきました。

それでは、次に今後の予定についてお願いします。江崙課長。

●**江崙教育総務課長**

(資料に基づき説明)

●**天野教育長**

今後の予定についてご質問等ありませんか。

(「はい」の声あり)

こちらで準備した分については全て終わりました。それでは、これもちまして、教育委員会3月定例会を終わります。皆さん、どうもお疲れ様でした。

教育長署名